

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県	島根県
------	-----

学校の概要 (平成15年4月現在)

学 校 名	西郷町立西郷中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学 級 数	2	2	2	1	7	17
生 徒 数	76	67	66	3	220	

研究の概要

1. 研究主題

豊かな心を育み、自ら学び、自ら行動しようとする生徒の育成
～確かな学力の向上をめざして～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年

- ・全学年・数学
生徒の理解の状況に差が出やすい教科であるため。また、学校として、少人数指導の研究実績があるため。
- ・全学年・英語
生徒の理解の状況に差が出やすい教科であるため。また、学校として、少人数指導の研究実績があるため。
- ・全学年・国語
これまでの研究実践から、実施学年・教科の枠を広げ、研究を進めるため。
- ・全学年・理科
これまでの研究実践から、実施学年・教科の枠を広げ、研究を進めるため。

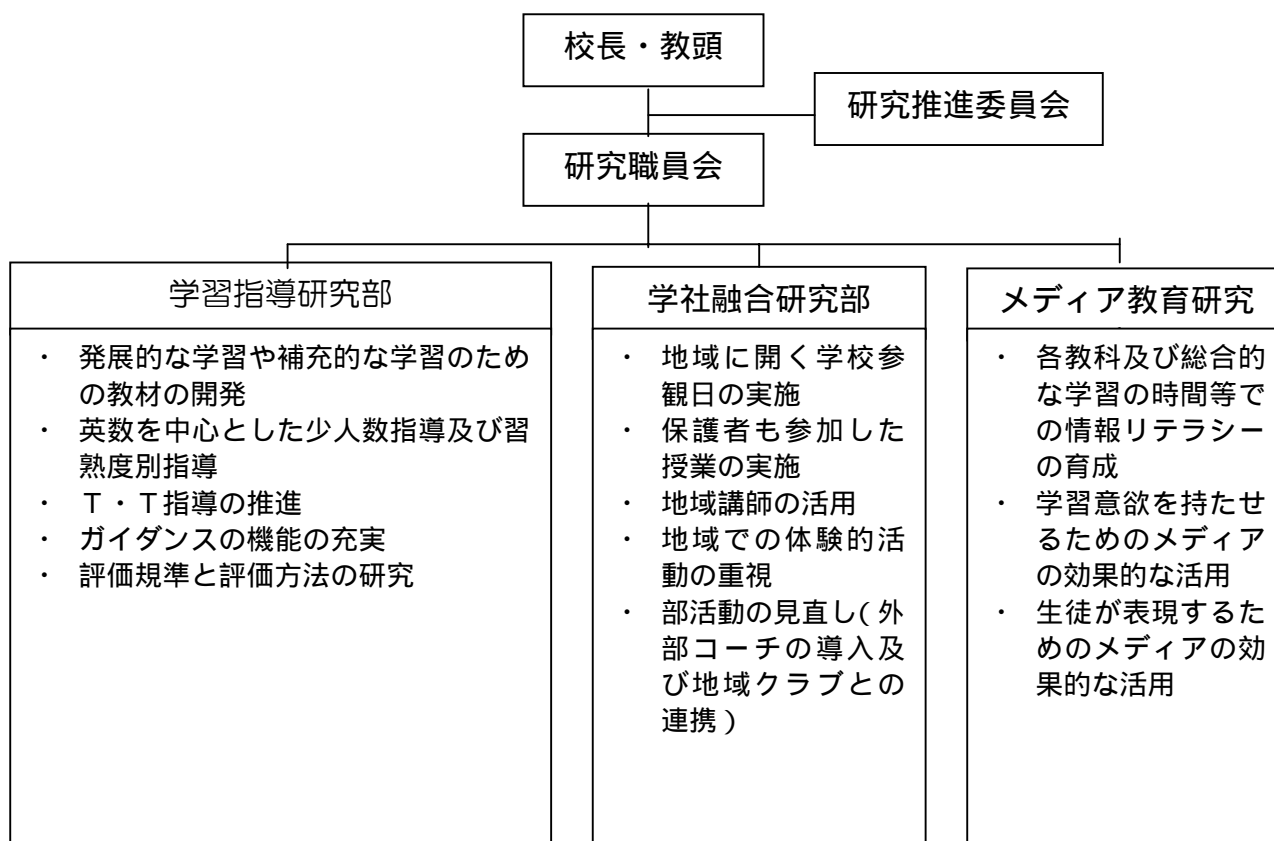
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	テーマ 豊かな心を育み、自ら学び、自ら行動しようとする生徒の育成 ～確かな学力の向上をめざして～
	研究の見通し 生徒一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導を充実させ新しい学習指導要領のねらいとする「確かな学力」の向上をめざす。
	研究の内容・方法 <ul style="list-style-type: none"> ・発展的な学習や補足的な学習など個に応じた指導のための学習教材の開発。 ・個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善（少人数指導，習熟度別指導） ・生徒の学力の評価を生かした指導の改善（指導と評価の一体化） ・地域の教育力の活用，メディア教育の充実。

平成15年度	<p>テーマ 豊かな心を育み、自ら学び、自ら行動しようとする生徒の育成 ～確かな学力の向上をめざして～</p> <p>研究の見通し 生徒一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導を充実させ新しい学習指導要領のねらいとする「確かな学力」の向上をめざす。 特に、個に応じた指導のための教材開発や指導方法の工夫改善を中心に研究をすすめる。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための学習教材の開発 発展的な学習及び補充的な学習のための教材は、選択教科の英語・数学を中心に開発を進め、必修教科においても個に応じた指導のための教材づくりを工夫する。また、課外（放課後、宿題等）で行う発展的な学習や補充的な学習のための教材も開発していく。 ・個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善について 英語・数学は全クラスを半分に分けることで、一人一人への支援の充実など、きめ細かな指導を行う。また、少人数クラス（グループ）編成にあたっては、学習内容によって等質グループ、習熟度別グループの効果的な活用を図る。 国語科，理科で、T・Tを推進し、きめ細かな指導の充実を図る。 ・児童生徒の学力の評価を生かした指導の改善について 各教科において評価規準を作成し、その評価方法を明らかにすることにより指導に生かす。また、生徒の自己評価や相互評価を授業の中で、効果的に生かしていくための方法について実践する。 ・地域の教育力の活用 地域のひと・こと・ものの積極的な活用を図った体験的な活動を積み重ねることによって、確かな学力の向上を図る。 ・メディア教育の充実 メディアリテラシーを身につけさせるとともに、メディアを効果的に活用することで、意欲的に学習に取り組み、自己表現できる力を育てる。
--------	---

平成16年度	<p>テーマ 豊かな心を育み、自ら学び、自ら行動しようとする生徒の育成 ～確かな学力の向上をめざして～</p> <p>研究の見通し 生徒一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導を充実させ新しい学習指導要領のねらいとする「確かな学力」の向上をめざす。 特に、これまでの研究実践の成果や反省を生かして内容の充実を図る。</p> <p>研究の内容・方法 評価規準の到達度、各種学力診断テストやアンケートを実施することにより、状況分析を行い本事業の成果を評価する。 3年間の成果と課題をまとめ、冊子等によって公開するとともに、事業終了後も継続的な実践が可能となるよう、次年度への基盤整備を行う。</p>
--------	--

(3) 研究推進体制



平成 15 年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- ・ 発展的な学習や補足的な学習など個に応じた指導のための学習教材の開発について
身近な事象を題材として教材開発を行った。生徒にデジタルカメラを持たせ、その撮影した映像から数学の関数に関わる学習を行った。これは、ごくありふれたものから関数を見つけ出すという、生徒にとっては驚きや興味を引き出すものとなった。また、この教材は、同じ素材を扱いながら、関数の見つけ方、検証の仕方に工夫をして、基礎コース、標準コース、発展コースと3つの指導過程に用いた。これまでの習熟度別指導では、より多くの問題が解けるといった学習の量や速さに着目していた。本年度は、学習目標に到達する思考過程そのものに着目して学習の質の違いを明確にし、各コースの指導過程の工夫改善を行った。
また、国語では発表者と視聴者の立場にそれぞれT1・T2が分かれて担当し、それぞれの視点がより明確に理解できる指導方法をとった。このようなはっきりとした立場の違いを浮き彫りにできたことで、多くの生徒が授業の内容を分かりやすいと感じた。以上のように昨年の実践より具体的な内容が成果として得られた。そして、教材開発や指導方法の新たな方向性が見えてきたとも感じている。
- ・ 児童生徒の学力の評価を生かした指導の改善について
各教科において評価規準を作成し、1単位時間1つの評価を実施した。評価規準の各項目は、1年がかりで吟味し、実際の評価に用いる実用的なものとなるように必要最小限の数にとどめた。評価規準を吟味する過程で、各教科における学力とは何かを改めて考える機会となった。
- ・ 地域の教育力の活用について
年間指導計画の中に、地域の専門家を招聘した授業を位置付けた。これはほぼ全教科に渡り、年間を通じて実践できた。この中で、普段の授業では行うことのできない専門的で、体験的な内容を授業で取り上げることができ、生徒の学習意欲の喚起につながった。
- ・ メディア教育の充実について
メディアを利用した授業について、年間指導計画の中に位置付け、年間を通して実践した。特にメディアの種類に応じた教育的効果について分類・分析し、教科・領域の実践に役立てた。

メディアを利用することで、生徒により具体的なイメージを持たせ、より分かりやすい指導過程が構築しやすいことが分かった。それにより、学習意欲が向上した。

2. 今後の課題

- ・意欲・関心・態度の評価についてはこれまでアンケートを中心として行ってきたが、学習一般の意欲・関心・態度も含めた評価を行う具体的な方法を検討する。
- ・全教科での補足的な学習及び発展的な学習のための教材開発や指導方法の改善を行う。
- ・課外（放課後、宿題等）に行う補足的な学習及び発展的な学習の指導法として、自学ノートを導入して、継続した家庭学習を支援し、生徒自ら目標を持った学習状況を作り出す方を考える。
- ・一斉指導，T T指導，少人数指導，習熟度別指導の特徴を生かした指導計画の見直しを図る。
- ・研究成果の検証方法として，C R Tなどの標準化された学力検査以外の方法も導入して，より多様な方法を用いる。

学力把握のための学校としての取り組み

- ・学力検査（C R Tなど）を3学期に実施し、観点別の学力達成状況について把握する。
- ・学習意欲に関するアンケート調査を2学期に行い、学習意欲の傾向を把握し、それをもとに指導方法の改善を図った。
- ・習熟度別指導や少人数指導についてのアンケート調査を生徒及び保護者に行い、来年度の研究実践の資料とする。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・保護者説明会を5月のP T A総会にあわせて実施し、昨年までの研究の報告や習熟度別指導に関する説明を行った。また、家庭学習について意見交換を行い、家庭と学校が連携して学習活動を支援していくことを確認した。
- ・公開授業（数学）を10月7日に行い、習熟度別少人数指導の授業として管内教員に公開した。
- ・隠岐小中学校研究大会を10月24日に行い、数学、技術、道徳を習熟度別指導およびメディア利用の授業として管内教員及び保護者に公開した。
- ・公開授業（国語）を11月27日に行い、T T指導の授業として、管内教員に公開した。
- ・公開授業（英語）を2月17日に、少人数指導の授業として、管内教員に公開する予定である。

【新規・継続校】	15年度からの新規校	<input checked="" type="checkbox"/> 14年度からの継続校		
【学校規模】	3学級	4～6学級		
	<input checked="" type="checkbox"/> 7～9学級	10～12学級		
	13～15学級	16学級以上		
【指導体制】	<input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導	<input checked="" type="checkbox"/> T・Tによる指導		
	その他			
【研究教科】	<input checked="" type="checkbox"/> 国語	社会	<input checked="" type="checkbox"/> 数学	<input checked="" type="checkbox"/> 理科
	<input checked="" type="checkbox"/> 外国語	音楽	美術	技術・家庭
	保健体育	その他		
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		<input checked="" type="checkbox"/> 有	無	